

〔第15回〕

NCGG-Ri 研究発表会

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

呼吸器の老化・疾患における 細胞老化の役割

老化制御研究部 免疫研究室

杉本 昌隆 室長

2016年12月13日(火) 16時45分
第1研究棟2階大会議室

ヒトを含む哺乳動物では、加齢とともに様々な組織の機能が低下するが、その原因等、実態は不明な点が多い。我々は細胞レベルでの老化に着目し、組織の加齢現象や病態の解明を目指している。生体において細胞老化を起こした細胞は、加齢とともに様々な組織で蓄積し、加齢に伴う組織機能の変化に関与することが報告されている。さらに最近では、細胞老化は様々な疾患に関与することが示唆されている。

最近我々は、モデル動物を用いた研究から、細胞老化が肺組織の加齢性変化に関与することを見出した。呼吸器の疾患においても、気腫などの病態では細胞老化が亢進することが報告されている。現在、呼吸器疾患モデル動物を作製し、気腫病態の進行と細胞老化の関係について解析を進めている。本報告会では、昨年これまでに本研究室で得られた知見について紹介し、今後の展望についても議論したい。

座長：四釜 洋介